特 別 調 査

_

混迷する経済社会情勢と中小企業 -コロナ、価格高騰、海外情勢の緊迫化を受けて-

世界的に新型コロナへの懸念が弱まり、国内景気の持ち直しが期待される中、ロシア・ウクライナ情勢、エネルギー、原材料の価格高騰、 円安の進行などの不透明な外部環境は今後の経済動向の悪化要因となっております。

今回は混迷する経済社会情勢における事項についてアンケートを実施いたしました。

調査時期/2022年6月 調査対象企業数/1547社 有効回答数/498社 有効回答率/32.2% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。









